



038PRESS

vol.26 秋号

宮町のイベントキャラクター
みやっち

お み や プ レ ス



がんばれ!北六バッファローズ

今季の特集
P2~P4

宮町と山形県西川町の 交流の歴史

P4……西川町見どころ・食どころ

P5……第25回お宮町なるほどツアー

P6……NEWS&TOPIX（地域情報）／仙台の町名の由来

P7……東京余話 vol.20／第26回教えて浄圓房さん！

P8……学校行事予定／Omiyamachi ほっとすぺーす No.13
／ペットにまつわるワンダーランド第8回



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ [038 プレスへようこそ](#) [検索](#)

ブログ [おみやプレスのブログ](#) [検索](#)

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

宮町と山形県西川町の 交流の歴史



今年21回目を迎える【お宮町秋まつり】には、毎年、山形県西川町から産直市で参加頂いているのをご存知でしょうか。交流が始まったのは21年前で、宮町秋まつりと時を同じく歩んできました。今回の巻頭特集は宮町商店街の佐藤広行理事長と山形県西川町の小川一博町長との対談を通じて、両者の交流について紹介します。

「自治体」と「商店街」という異色の組み合わせの山形県西川町と宮町商店街振興組合。交流のきっかけや、現在までの経緯などをお聞かせください。

宮町商店街振興組合の佐藤広行理事長と、山形県西川町の小川一博町長にお話をうかがいました。



対談する西川町・小川一博町長と宮町商店街・佐藤広行理事長

佐藤理事長 私の親戚が西川町出身ということが発端でした。初めは本当に小さなきっかけでしたが、そこから21年にも及ぶ交流が生まれたんです。

小川町長 私と宮町との出会いは、役場の職員時代が始まりで、それからもう13年経つんですね。

編集長 お宮町秋まつりでの交流をはじめ、昨年は町と商店街との間で友好締結更新まで至ったわけですが、このことについてお聞かせください。

佐藤理事長 21年前、北四番丁通りの拡幅に伴い、開通前の道路を有効活用しようということで秋まつりを開催したのが交流の始まりでした。そのお祭りに、西川町の方々が産直販売として応援に駆けつけてくれるようになったのです。そしてお互い訪問し合ううちに、西川町の魅力に触れて、より絆が強まった気がします。

小川町長 交流がスタートしてから10年目の平成19年に町と商店街の友好締結を行いました。そして昨年、交流が始まり20年目という節目にあたり、この関係を多くのの人々に知ってもら

宮町 西川町 友好締結更新書

仙台・宮町と、山形・西川町は、お互いのことを大切にしよう努めつつや。

- 一、人の気持ちをまず大切にして、お互いに信頼すべし。
- 一、相手の町の歴史や文化を大切にすて 笑顔と尊敬の気持ちをもって交流すべし。
- 一、町の美味しいものや特産品があったときはお互いの町で紹介すべし。
- 一、商いたとか文化だとか童子だつの教育だとか いろんな形で交流すべし。
- 一、これだ！って決めねえほうがいいんだでは……
- 一、年に何度かは、いろんな形で交流できればいいんでねえべがなあ。
- 一、今までの関係に感謝して、これからも末長く仲良くすべし。
- 一、いそがしいときは、お互い無理しねえこと。それが、長く続く秘訣だでは……。

この約束の書は、一通作成及び調印し、それぞれ両町において保有し、署名の日から効力を生ずる。

平成二十八年一〇月九日(日)

まるごと西川 三山祭り 会場にて

宮町商店街理事長 佐藤広行
山形県西川町長 小川一博



看板制作について説明する「まるろく」の設楽新太郎社長



毎日、西川町を元気にする看板が掲げられている



月山湖畔の売店では「まるろく」の玉蒟蒻を販売中

今年5月に「東北道の駅連絡会総会」において、山形県西川町「道の駅にしかわ」が道の駅大賞に選ばれました！道の駅にしかわは、地域の魅力を発信・体験する拠点として高く評価され受賞となりました。この道の駅では、地ビール月山を製造販売する取り組みや、温泉施設「水沢温泉」を併設しています。



道の駅にしかわ 愛称：月山銘水館。
所在地：〒995-0025 山形県西村山郡西川町大字水沢2304
HP：http://www.gassan.co.jp/
◆売店：レストラン 午前8時30分～午後6時
◆公衆トイレ：24時間利用可能
◆水沢温泉館：4月～11月開館時間6時～21時
12月～3月開館時間8時～20時
【休館第2火曜日】

道の駅大賞受賞！

資料

平成28年度末の集計では、西川町の人口は5617人、世帯数は1891。対する仙台市青葉区の宮町は北六地区が8942人、世帯数4792。東六地区が13374人、世帯数が7830となっています。

あとがき

本紙編集部員4名は、対談の中でご紹介のあったお店や施設を巡りました。印象的だったのは、対談直後に訪問した西川町の「まるろく」の社長設楽新太郎さん。「まるろく」本店の向かいにある建物は、まるで西川町の広告塔。西川町の催事を紹介する看板が掲げられています。設楽社長自ら作る看板は数百にも及ぶそうです。佐藤理事長は「設楽社長とのお縁は大切にしたいですね、私が西川町を好きになったきっかけを作っていた方です。」

「まるろく」さんは、仕出し弁当や美味しい玉蒟蒻が有名で、月山湖の畔に立つ茶屋で食べた玉蒟蒻は実に美味。その他のお店は次の頁で紹介いたします。

の一端が見えて参りました。それでは締めくくりに、西川町の魅力をお聞かせください。

小川町長 締結書にある通り、忙しい時はお互いに無理しないという信念で、本当に無理のない交流が20年以上の永きに渡り続いた理由なんですよ。そんな関係性が、東日本大震災の際には西川町をあげて宮町地域の皆様に対する支援へと繋がったんです。

佐藤理事長 あの時は大変ありがとうございました。東六番丁小学校に月山自然水などの物資を提供頂いたり、北六番丁小学校では、炊き出しとして山菜そばを御馳走して頂きました。お腹の満足はもちろん、被災した私たちの心にも西川町の皆様の温かさが沁みたるを今でも鮮明に思い出します。

小川町長 第21回お宮町秋まつりでは、今年も西川町の美味しいお料理、食材、お酒をたくさん持って参加します！

佐藤理事長 私どももまるごと西川三山祭りに、宮町から応援に出掛けますよ！

編集長 自治体と商店街の交流が、東日本大震災のような危機の時に役立ったんですね。普段からのお付き合いが大切なのが良くわかりました。お二人のお話をうかがい、交流

小川町長 先ずは、「道の駅にしかわ」が今年、道の駅大賞を受賞しました。今年のまるごと西川三山祭りは、その道の駅にしかわで10月8日(日)に開催します。二つ目は、西川町はさながら「麺ロード」。その中身が凄いです。三つ目は、月山、湯殿山を抱えた西川町は1000年以上の歴史があります。そして四つ目は、名水百選にも選ばれた西川町の湧き水は本当に美味く、町内に地ビールにワイン、清酒とメーカーが揃っています。

編集長 出羽三山を北西に抱き、南に朝日連峰を背にした西川町。豊かな大自然、野趣あふれる温泉、積み重ねて来た歴史や数々の伝統の技に触れることができます。美しい自然と風土が育む美味しい恵は、きつと訪れた人々の心を満たしてくれるでしょう。この秋は、「まるごと西川三山祭り」や「お宮町秋まつり」を通して、西川町の人情と、美味しい食とともに交流を深めたいと思います。是非読者の皆様も西川町へお出かけ下さい。

今年も笑顔で元気一杯のゲームやアトラクションを用意してお待ちしております!

西川町のきらりと光る店 山竹商店

現在はお酒屋さんの山竹商店。30年数年前までは映画館だったそうなので、今も店の前に昔の映写機を置いています。映画好きゆえに、「ゆくゆくは店の前で映画の上映会や、オープンカフェも開催したい」と語る店主の後藤武郎さん。設楽酒造の特注酒やコカ・コーラの



映画館だった頃の映写機



山竹商店 店主 後藤武郎さん

のこだわり等、好奇心と探究心、遊び心満載の後藤さんには西川町の心意気を感じました。

山竹商店

〒990-0702 山形県西村山郡西川町海味80-1

営業時間：9時00分～20時00分 TEL：0237-74-2610

西川町の水にこだわったシンボル「月山湖」の噴水



月山湖大噴水の噴射高は112mで日本一を誇ります。直上主ノズルと8本の揺動拡散ノズル、さらに3色にライトアップできる12個のライトが設置されており、季節ごとに打ち上げパターンを変えて噴射しています。寒河江ダム展望広場からが絶好の眺めで、月山湖売店(TEL:0237-75-2555)では、山菜そばや、「まるろく」の玉蒟蒻・ソフトクリームなどを食べながらご覧ください。

タイムテーブル (11/5まで) ※平日は16:00で終了

10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00

問い合わせ先：西川町役場建設水道課 (TEL:0237-74-2111)

西川町の麺文化「麺ロード」が凄い!

「おみやげグランプリ2017」各国審査委員賞(アメリカ)を受賞♪



サクラパスタ1袋(100g)
販売価格 400円(税抜)

【月山山菜そば組合】の加盟店は18店舗を数え、組合統一ブランドとして「月山山菜そば」があります。たっぷりの山菜やキノコ、鶏肉を鉄鍋で煮た熱々のつけ汁に、きりりと冷めで締めたそばをつけて食べるのが「月山山菜そば」です。西川町で製造、販売されている麺類は、蕎麦は田舎蕎麦の板そば、やぶ系や更科系と、太いものから細いものまで揃います。また、冷たいラーメンに肉蕎麦、桜の形の Pasta や、麦切りに素麺まで、麺の種類が実に多彩です。西川町は山形県にあって、他の追随を許さない麺王国と言えましょう。その麺文化を支えるのが1949年創業の「玉谷製麺所」。近年「サクラパスタ」をはじめとした商品開発に力を入れており、県内外はもとより、海外に向けて積極的な情報発信をしています。西川町を訪れたら是非寄りたい『麺』スポットです!

つおろの舗(有限会社 玉谷製麺所) ※「つおろ」とは麺の意味で多種多様な麺が並ぶ

〒990-0701 山形県西村山郡西川町大字睦合甲242番地

営業時間：9:00～17:30 / 定休日：毎週火曜日

フリーダイヤル：TEL 0120-77-5308 / FAX 0120-77-5506

e-mail：webmaster@tamayaseimen.co.jp HP：http://www.tamayaseimen.co.jp/

西川町 見どころ 食べどころ

まるごと西川三山祭り
月山の麓で楽しもう!! つながろう!!
～ひと・こころ・うまいもの～

昭和49年11月に廃線となった三山電車(山形交通三山線)は、出羽三山への参詣客の輸送や鉱山物資等の運搬、月山・間沢のスキー場や西川菊まつりへの誘客などに大きな役割を果たしました。そんな歴史ある三山電車をモチーフに、年齢問わずチャレンジできる「三輪車のイベント」や「三酒(地酒・地ワイン・地ビール)まつり」など、町内外のうまいものを集めた「うまいものフェス」を目玉とした『まるごと西川三山祭り』が開催されます。

開催日時：2017年10月8日(日) 10:00～15:00

開催地：道の駅にしかわ

お問合せ先：まるごと西川三山祭り実行委員会事務局

電話番号：0237-74-4119

月山志津温泉 仙臺屋

仙臺屋は出羽三山信仰の参詣口として約400年前より行者宿として営んできました。仙臺屋の名は、伊達家のお殿様の湯治宿だった事に由来し、江戸時代より名のつた女将。志津は湯殿山参詣で六十里越街道の通行客が急増し、慶応3年(1867年)の年間宿泊者は2万人以上で、全てが参詣者でした。1960年代に月山夏スキーが脚光を浴び、観光の町として変貌、今日に至っています。



ランチは山菜そば(1,080円)を提供し、日帰り温泉の入湯料は500円です。

月山志津温泉 旅館仙臺屋 〒990-0734 山形県西村山郡西川町志津22

TEL：0237-75-2218 / FAX：0237-75-2588

HP：http://www.sendaiya.jp

山菜料理専門店「出羽屋」で山の息吹を感じる

「出羽屋」は出羽三山(月山、湯殿山、羽黒山)への参詣の行者が行き来する信仰の道の中心にあり、旧三山電車の停車場前にて行者を泊める宿として昭和4(1929)年に開業しました。西川町で採れた山菜や川魚など山間地域に住む人たちの保存食だった山のものを「山菜料理」として提供し、現在に至っています。山菜は究極の地産地消と女将とご主人。宿泊も可能です。



山菜料理は
2,300円から

山菜料理 出羽屋 〒990-0703 山形県西川町間沢58

営業時間：【お食事 11時～21時 / ご宿泊 16時チェックイン】

ご予約・お問い合わせ ▶TEL：0237-74-2323 ▶FAX：0237-74-3222[9時～20時]

▶HP：http://www.dewayaya.com E-mail：info@dewayaya.com

第25回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回のツアーは、北六小学校の近くにある陶芸教室と、クリーニング屋を巡りました。陶芸教室で、実際にろくろを回し茶碗作りに挑戦しました。短い時間でしたが、手しごとの面白さを味わうことができました。

作って楽しむ、使って楽しむ

陶芸教室 里見窯

北六のバス通りに面した街なかにある陶芸教室です。窯元の田代里見さんは会津出身、伝統工芸を大切に育まれ、京都で陶芸の技と感性を磨きました。結婚により仙台の住人になった時、広い敷地が確保できる郊外ではなく、交通の便がいい現地に工房を構えました。「ここに窯を開いて17年になります。街中で人と交流しながら、暮らしによりそう器を作りたいと思っています。週の前半は創作活動、後半は生徒さんに教えています。1クラス4、5人と少人数、個人のペースに合わせた丁寧な指導を心がけています。陶芸の面白さや奥深さをたくさんの人と共有したいです」と田代さん。

4,000 円の1日体験コースも開催しています。

陶芸教室のご案内

木・金曜日 午前 10:00 ~ 12:00
午後 14:00 ~ 16:00
土曜日 午前 10:00 ~ 12:00
午後 14:00 ~ 16:00

月 4 回
入会金 6,000 円
月 謝 8,000 円
(税込み)

住 青葉区梅田町 1-57 TEL 022-274-5310

申し込み・お問い合わせ Satomi-kiln.com



写真奥が田代里美さん

「毎日オトクなクリーニング屋さん」

洗たくや 宮町店

宮町通りにあるクリーニング屋さん。「クリーニング業で独立をしたくて」と店主の引地さんが現在の宮町四丁目に店舗を構えたのが平成22年の10月でした。一般家庭だけでなく単身サラリーマンの利用も多いそうです。ドライ品が3点以上で半額というサービスを年中で行っている他、布団やラグなど家庭ではなかなか洗い難いものを素早くお手ごろ価格で仕上げてくれます。浴衣や毛布など季節に応じたサービス企画も魅力的。シミ抜きも出来る限り相談に応じてくれるそうです。

営 9:30 ~ 18:30 休 なし (お盆、正月のみ)

住 青葉区宮町 4-6-28 TEL 022-265-1745

駐車場 なし

配 達 なし



引地琢也社長



「038プレスを見た」で布団、掛敷布団(綿、羊毛、羽毛)のクリーニング代が20%引きのクーポン券を進呈(12月30日まで利用可)
お〜いお茶(缶)のプレゼント(なくなり次第終了)

次回のご案内

今回は右の2店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、またはFAXでお申込みください。

- ① 格闘技 フィットネスジム ファイティング ラボ仙台
- ② 北海道の味 吉丸(ジンギスカン)

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

日 時 平成29年10月28日(土) 15:55 ~ 18:00
集合場所 15:55 らーめん堂 仙台つ子花京院店前
会 費 1000 円(飲食代実費分)

今年もやります。東六コミセンまつり

来る10月28～29日に東六コミュニティセンターで恒例の東六コミセンまつりを開催いたします。

▼手作りコーナー：

「お豆ちゃんのブローチ」 10月28日10時30分～先着30名

▼くじ引きコーナー： 10月28日・29日（参加費無料）

▼花京院地域包括支援センター：介護予防出張相談会、健康教室

◆第29回 「趣味の作品展」 下記の要領で作品を募集中です。

募集作品…絵画・書・手工芸・写真・盆栽・生け花など

応募点数…ひとり5点まで（幼児～大人）

作品搬入…10月27日（金） 10時～12時

作品搬出…10月29日（日） 15時～15時30分

同時開催

◆「秋田県大雨災害復興支援バザー」 売上金は全額寄付します。

【下記の未使用品がございましたらご提供下さい】

提供品……タオル類・食器・衣類・靴・靴・小物雑貨など
コミセン1Fに提供品をお入れいただく「箱」を用意しております。（10/1～27日迄）

日 時 10月28日（土）・29日（日）10時～16時 最終日は15時まで

場 所 東六コミュニティセンター

問合せ ☎022-263-5311 平日10時～12時

主 催 東六コミュニティセンター

東六地区連合町内会・コミセンまつり実行委員会

東六児童館まつりのご案内

今年も笑顔で元気一杯のゲームやアトラクションを用意して、ご来館をお待ちしております！

日 時 10月28日（土） 10時～12時30分

場 所 東六番丁児童館（東六番丁小学校・校庭南側）

第21回お宮町秋まつりのご案内

宮町秋まつりは今年で第21回を迎えます。宮町商店街の出店、恒例となった山形県西川町からの産地直送の野菜をはじめ、おいしい漬物の販売や、石巻からの出店などで賑やかな秋まつりとなります。恒例の「杜で奏でる音楽祭」では、利府太鼓、北六小（北六ソーラン） 東六小（スクールバンド）五城中（吹奏楽部） 杜で奏でる音楽祭 境内にて東六小（スクールバンド）・利府太鼓・北六小（北六ソーラン）・五城中（吹奏楽部）・本田笑子と片手のピアニスト千葉貴利の杜ライブ・菅田かおりとファンタスティックみやBAND・仙台ガブリエリプラスでお楽しみ頂きます。

飲食ゾーンでは、秋の味覚・芋煮のほか、フランクフルト、クレープ、肉饅頭、焼きそば、ずんだ餅、肉巻きおにぎりなど盛り沢山です。他にもフリーマーケットなど、たくさんの出店があります。なお、売上の一部は交通遺児に寄付されます。

楽しさ、美味しさ、面白さ満載のお宮町秋まつりをお楽しみください！皆様のお越しをお待ちしております。

開催場所 仙台東照宮境内

開催日時 平成29年10月14日（土）午前10時～午後3時30分

主 催 宮町商店街振興組合

第46回東六学区民体育祭大運動会

地域を挙げて東六学区民体育祭大運動会を開催します。家族みんなで参加・応援を宜しくお願い申し上げます。

日 時 平成29年10月1日（日）

午前8時30分 開始

会 場 東六番丁小学校 校庭

開催内容 打上げ花火

（午前6時40分 雨天の場合中止）

主 催 東六学区民体育振興会

後 援 東六地区連合町内会・仙台市立東六番丁小学校



万燈会・夏祭りが 盛大に開催されました

去る8月19日に東六小校庭・体育館において3年に一度の「万燈会・夏祭り」が開催されました。当日は朝に雨が降ったものの、その後は曇り空。夕方にはこらえきれずに雨が降り出してしまいましたが、その後は小降りとなり、フィナーレの花火まで何とかプログラムを最後まで終えることができました。今年も地域の方々が大勢参加し、子供たちの思いがこもった灯籠を見上げながら、盆踊りを楽しみました。

仙台的町内会の名の由来③ 小田原八丁

1652（1704）（承応～元禄年間）
城下拡張に伴い小田原の一部に町割りされた侍町の総称で、車通・山本丁・金剛院丁・広丁・大行院丁・清水沼通・牛小屋丁・蜂屋敷のことを指します。



ここはかつて小田原田圃と呼ばれ、松尾芭蕉が「奥の細道」に記した歌枕「玉田横野」の地でもあるのです。

この辻標は、仙台市制施行八十八周年記念行事の一つで、由緒ある町名や通名を後世に永く伝えていくことを目的とし、昭和五十二年に建立されました。建立は勾当台通／表小路より始まり、この「小田原八丁」の八十八基目をもって事業完了となりました。

場所 宮城県仙台市青葉区小田原
四丁目4-3（常盤木学園内）

Aさんの挑戦と

「お達者検診」

東京都板橋区に東京都健康長寿医療センターという、病院と研究所を備えた施設がある。明治時代の実業家・渋沢栄一が運営にかかわった「養育院」が前身で、「医療と研究の融合により健康長寿社会の実現を目指す」をモットーにしている。

3年前、このセンターの名物先生が行った「健康長寿」に関する講演が、3年をかけてある人の人生を動かした。大手百貨店の役員を経て、医療財団の常務理事をしていたAさん。健康長寿に関心をもち、センターの研究会に通ううちに、先生が近くのお年寄りを対象に続けてきた「お達者検診」をもっと普及させようと思い立つ。そしてこの夏、任期中で財団を退き、事業化に向け独りで奔走を始めた。

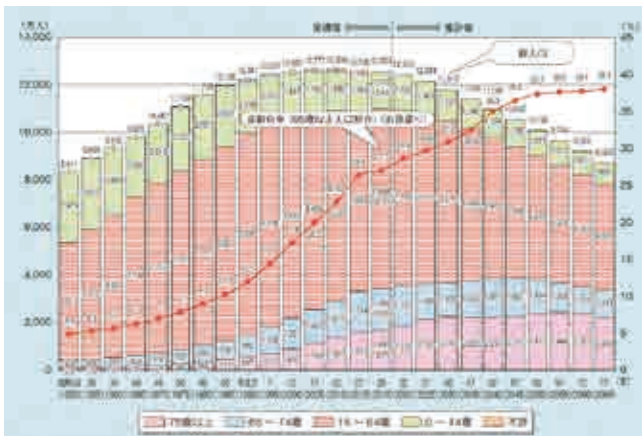
お達者検診は、認知機能や口腔機能の低下、高齢による衰弱など「老年症候群」を予防するためのもの。定期的に検診を受け、身体の変化を知り、適切に対処することで健康寿命を維持しようという試みだ。とはいえ、事業として成立させるには、しっかりとした仕組みが欠かせない。資金をどう集めるか。検診に参加してくれる医療機関をどう確保するか。そもそも有料で検診を受ける人はいるのか。どう啓蒙していくのか。これまでの人脈を駆使して動き回っているものの、医療法の壁もあり、まだ先が見通せないのが実情だ。

でも、新たな人生に踏み出したことに後悔はないという。

「財団にいればそれなりに安定した収入を得られましたが、今やらなければならぬことは何かと考え、両方を天秤にかけてチャレンジしてみることにしたんですよ」とAさん。

日本は総人口に占める65歳以上の人の割合が27・3%（昨年10月現在）に達する超高齢社会に突入している。世界に例を見ないスピードで進む高齢化と増え続ける医療費。このまま進めば、若い世代の負担は一層増え、国や地方自治体の財政も破綻しかねない。

お達者検診の普及が人々に健康長寿をもたらし、医療費増大の抑制につながれば、検診を受けること自体が次世代への贈り物になる。講演に心を動かされてから3年。Aさんは近く事業運営の母体となる社団法人の設立を予定している。関心のある方は、三岡までご連絡ください。(paris5@nifty.ne.jp)



第26回



北一番丁の簡保のビルはモダン建築

ねえねえ浄園房さん、私たちの町に随分と古いビルがあると聞きました。

そうなんじゃあ

現在の北一番丁の通り北側にある仙台簡易保険事務センターは1936（昭和11）年の竣工となる古いビルでう。今ではあまり見かけなくなった昭和初期のモダンイズム建築と言われる建物じゃ。整然と並んだ開口の大きな窓と、車寄せのある玄関の底の形がアクセントになっておるのう。古さを



横浜市に司令部がある第8軍の部隊が進駐したが、まもなく札幌市に司令部がある第9軍管轄となった。その後、第9軍司令部が仙台に移転となり、仙台地方簡易保険局庁舎に入った。キャンブ・センダイ（仙台北城二の丸）が完成すると第9軍司令部はそちらに移転し、仙台地方簡易保険局庁舎は病院に転用され、172ステーション・ホスピタルと呼ばれた。

アメリカの人達の病院だったなんて、すごい！



そうなんじゃあ！

朝鮮戦争が始まると、多数の負傷した兵士が運ばれてくるようになり、ヘリコプターが屋上に着陸する場合もあった。左の写真は、患者さんに生花で慰問活動をしておる日本のご婦人たちがあ！その昔は二棟連結の建物で周りに桜の植栽があり、綺麗だったと聞か、木はだいぶ伐採され、北側の建物は解体されて現在に至っておるのじゃ。

正式名称は

172nd Station Hospital Sendai Honshu Japan

文章：千葉富士男



感じさせないすっきりとしたデザインで、モダンイズム様式は旧通信省時代からの伝統なんじゃ。ここは昭和の初め旧通信省仙台地方簡易保険局庁舎として使われたが、第二次世界大戦後、占領期初期に進駐軍に接収された。仙台は当初、



学校行事予定 (2017 年 10 ～ 12 月) * なお、2017 年 9 月上旬での予定のため、変更になる可能性もあります。ご了承ください。

◆東六番丁小学校	
10 月 4 日 (水)	東六の日 (一日参観日)
10 月 28 日 (土)	音楽発表会 (保護者公開)
11 月 9 日 (木)～10 日 (金)	4、5 年野外活動 (泉ヶ岳自然ふれあい館)
11 月 15 日 (水)	火災対応の避難訓練

◆五城中学校	
10 月 21 日 (土)	運動会 (五城中校庭)
10 月 25 日 (水)	カレー昼食会 (運動会予備日)
11 月 7 日 (火)～9 日 (木)	2 年生職場体験学習

◆北六番丁小学校	
10 月 3 日 (火)	和・話・輪フェスティバル
11 月 11 日 (土)	学習発表会保護者公開日
11 月 16 日 (木)	就学時健康診断

◆常盤学園高校	
10 月 29 日 (日)	第 2 回オープンスクール

何気ない風景に溶け込んだ『まちの一コマ』

Omiyamachi ほっとすぺーす No. 13

今号の表紙画 『がんばれ！北六パッファローズ』



スポーツの秋、小松島の高台にある緑豊かな専用グラウンドで週末練習に励む小学生たち。昭和 46 年創立の硬式少年野球チームで東京ヤクルトスワローズ由規投手も小学生時代に在籍していました。今年も夢のアメリカ大会を目指して、ガンバレ北六パッファローズ！ (がんじー)



前号でインタビューに応じてくださった「浅川布団店」さんの店内にある三台の蓄音機。大正時代と昭和一ケタに作られた手回し式が一つずつ。それから電蓄と呼ばれる電動式のものは、今の冷蔵庫ほどの大きさがあります。いずれも現役でちゃんと動きます。昭和初期の歌謡曲、軍歌、童謡 etc…色々聞かせていただきました。

ペットにまつわるワンダーランド

動物から学ぶ。

プリーリードックの種の保存！

北米が原産のプリーリードックは、リスの仲間です。名前の由来は、プリーリー草の意味で、ドック草犬のように吠えるところから来ています。プリーリードックは、いろいろな鳴き声で仲間に危険を知らせます。それにより逃げ方が変わるのです。

例えばタカが接近すると、それに気づいた一匹が甲高い声を発します。それを聞いた群れは、巣穴がけて一目散に逃げ込みます。最初にタカに気づいた者が、自分だけ先に黙って巣穴に飛び込むのが一番良いはずなのに、自分が標的にされる危険も顧みず、甲高い声を発するので

声の大きさは、群れの中に近親者（および自分の子供）がいる場合、3 倍の大きさの声で鳴くそうです。しかし例え近親者がいなくても危険を冒して鳴くのは、群れを存続できることでその個体も生き残ることができるからです。

人間の子供は、両親や学校から愛情を持って教えられることも大事ですが、地域の中で子供を育てなければ、子供は良い大人にはなれないと言われていました。

人間は、ソサエティ（地域・世間、団体・組織）の中で生きる動物ですから、周りの人と助け合って生きることがその個人の幸せ度も高めます。

町内会活動や多くのボランティア活動に積極的に参加して、住み良い社会にしたいものです。

ペットシヨブさま 佐藤広行

※ TBCラジオ (1260 AM)

Goodモーニング ティクニック

「ペットにまつわるエトセトラ (第 2・第 4 金曜 朝 8 時 30 分からの約 8 分間)」に生出演中！

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様
仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1
TEL: 022-723-8000



**西松建設株式会社
北日本支社 様**
仙台市青葉区大町 2-8-33
TEL 022-261-8161



ABCORPORATION 様
株式会社エービーコーポレーション
仙台市青葉区宮町 3 丁目 8-33 TEL: 022-217-0033



HARIU Communications CO., LTD 様
ハルコムコミュニケーションズ株式会社
本社: 工場 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 2 番 12 号
TEL 022-288-5011 (代) FAX 022-288-7600 (代)
URL http://www.zundonet.co.jp
●営業所: 東京

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集後記

本紙 3 号の巻頭記事は、中川晃教さんでした。素人記者の私の質問に丁寧に答えてくれた彼の誠実な人柄が忘れられません。彼は東北六小中学校時代から作曲を始め、東北高校在学中に歌手デビュー。ミュージカルの世界へと活動の幅を広げ、昨年は「ジャージーボーイズ」で読売演劇大賞・最優秀男優賞に輝きました。挑戦し続ける中川晃教さんの歌を、もっとと地元の人に聞いて欲しいと思っています。

加藤久枝

息子が全員集まったことをきっかけに、「断捨離」を兼ねて引越しをしました。住み慣れた東六地区を離れたことには大きな寂しさを感じていますが、新たな生活への期待もたくさんあります。今後は「終活」の視点も必要になるはず。変化を厭わずチャレンジできる心と体を維持することが当面の目標です。

加納実、美保

編集メンバー

主筆

海老一朗

編集長

千葉富士男

編集委員

今泉清二

岩瀬弘一郎

加藤久枝

鹿野恵美子

菊池ゆう子

木村くみ

佐々木敦斗

佐藤正則

佐藤靖

穴戸俊彦

高橋孝敏

永田良治

針生英一

三岡昭博

顧問

足利允湧

アドバイザー

内海睦夫

イラスト

がんにー

038 プレス info



ブログ



ホームページ